

放課後等デイサービス グローリーⅡ 評価表（保護者向け）

調査時期：令和7年1月 回答率：52.9%（18/34世帯）

【目的について】

※学校名やお子さんのお名前等は学校や子どもと変換しております

質問① 利用者が、サービスを利用する目的や目標などはどのようなことですか

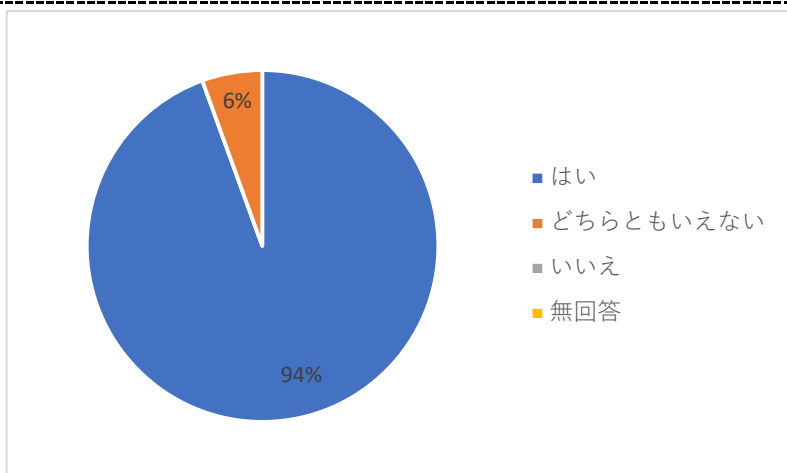
- ・ 集団療育。集団の中でルールや人との距離感を学び、最終的目標の自立に向けて取り組む。
- ・ 自分のことが1人でもできるようになってほしい。
- ・ いろんな経験等を通じて成長や自分で考える力を身に付けてほしいと思っています。
- ・ 人との関わり、コミュニケーション。自立。
- ・ 過程では教えきれないことや、将来に向けて人出できる事を増やす。集団行動の中でのやっつけける力をつけるため
- ・ たくさんのことを経験して不文で出来ることを増やしてほしい。
- ・ 社会生活の適応能力が向上できるように支援してほしいです。
- ・ 社会性を身につける。
- ・ 家庭ではできないこと様々な経験をさせたい為。また一人でできることを増やしたい。
- ・ 集団の中で、集団生活での決まりや行動の仕方について考えて学んでほしい。
- ・ 周りとのスムーズにコミュニケーションがとれるようになってほしい。
- ・ 自分にできることをふやすこと。
- ・ たくさんの人と関わること。
- ・ 成長のため
- ・ いろいろな世界を経験させるため・

質問② 「1」の目的や目標の達成度や満足度はどのくらいのものですか

- ・ まだ少しずつではあるが、日々目標に向けて頑張っている姿は見れていると思う。
- ・ 少しずつ少しずつできるおkとも増えてきているので、安心しています。が、ST,OT等の専門スタッフがいればなと思ったりします。
- ・ 少しずつ子供なりに成長が見れてたすかっています。
- ・ 大変良い
- ・ 入った頃に比べて成長している。もっとレベルアップしてほしいところではある。
- ・ いろいろな活動をして下さり、感謝しています。まだ課題がたくさんありますが、少しずつできることが増えてきています。ありがとうございます。
- ・ まだ利用して1年。、限られた曜日の利用ですが、本当に貴重な経験の機会をいただき心から感謝しています。身辺自立に関しても丁寧にご指導下さり感謝です。
- ・ よく注意（指導）して頂き、自分でも気が付かないことを指導いただきありがたいです。
- ・ いろいろな経験などで成長を感じとても満足しています。
- ・ 多くの経験をさせていただき十分に満足しています。ありがとうございます。
- ・ 他の人よりも遅いかもしれませんが、毎年成長を感じれているので利用してよかったと思っています。
- ・ とても満足している。

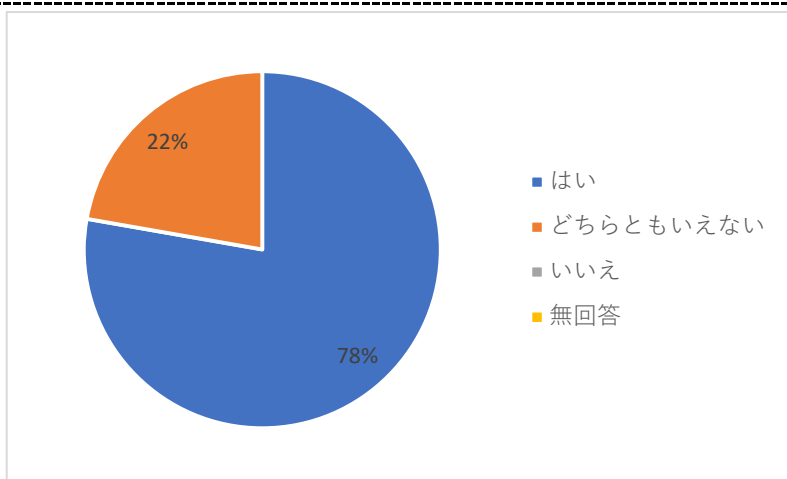
【環境・体制整備について】

① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。



・公民館での活動等も行って言う@ので素晴らしいと思います。

② 職員の配置数や専門性は適正であると思いますか。



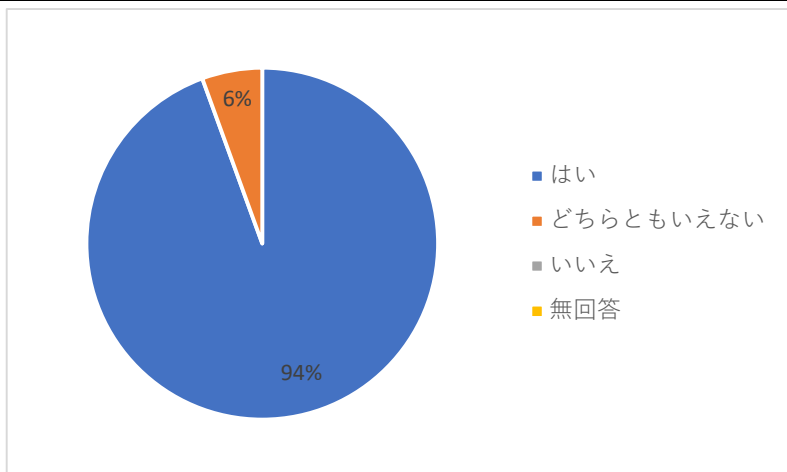
・人力的にはどうなのかな？といった部分ではありますが、女性スタッフがいない時間なのかなと思うことがあります。

・ぜいたくを言えば、専門的な知識を持った方がいてほしいかな…

・限られた人員の中で様々な活動をしていただいているので、職員の皆様方のお体が心配になります。いつもありがとうございます。

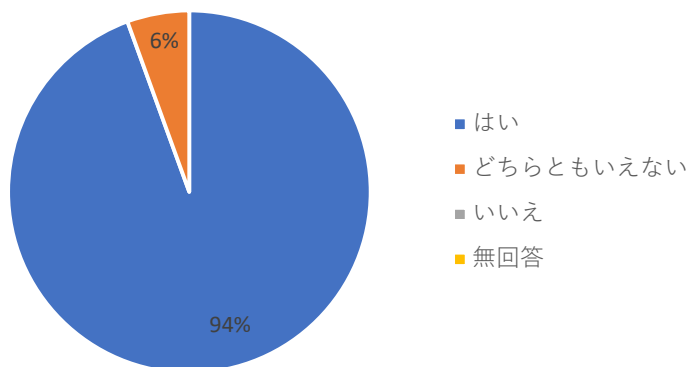
・

③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされていると思いますか。

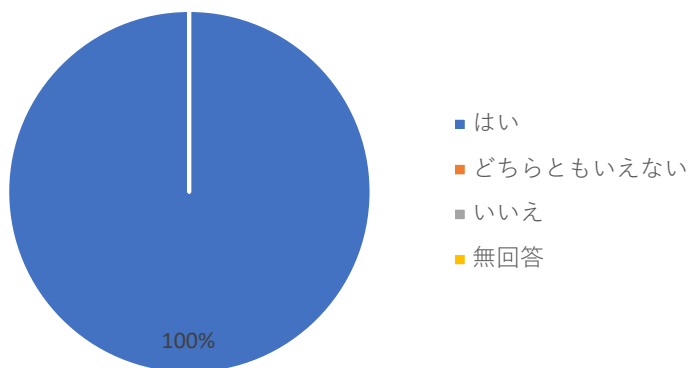


【適切な支援の提供について】

④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。

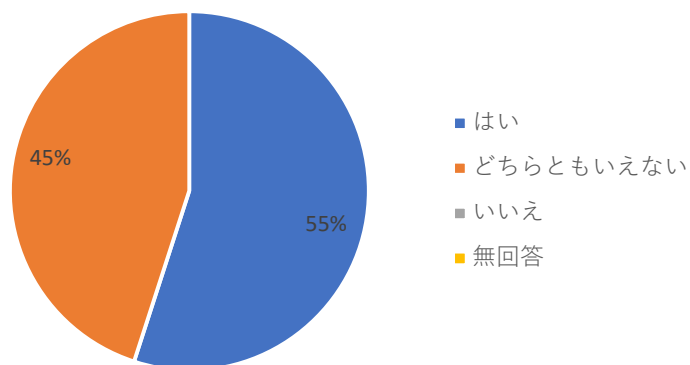


⑤ 活動プログラム(グローリータイム)が固定化しないよう工夫されていると思いますか。



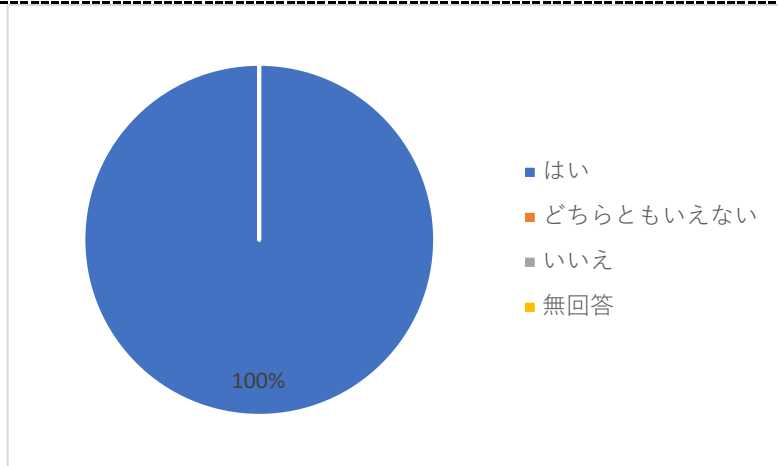
・いつも違う活動をされているので素晴らしいと思います。

⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があると思いますか。

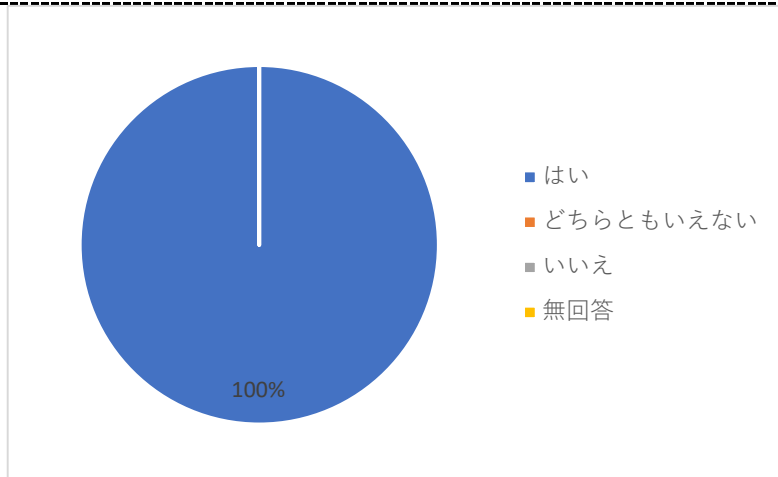


【保護者への説明等について】

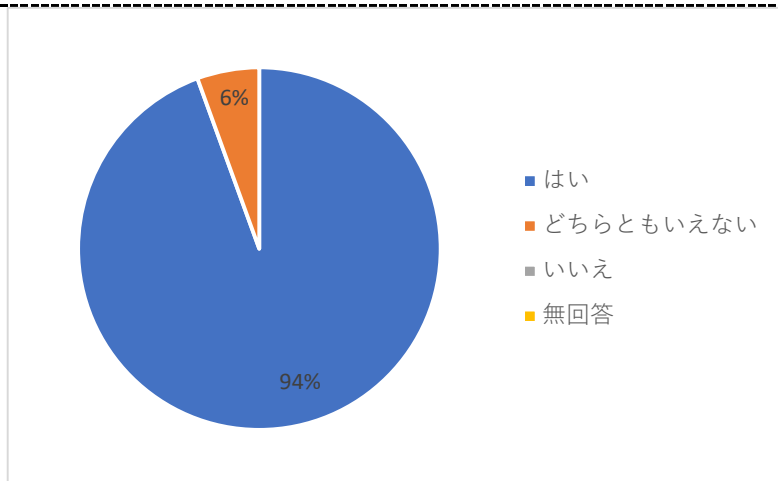
⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていると思いますか。



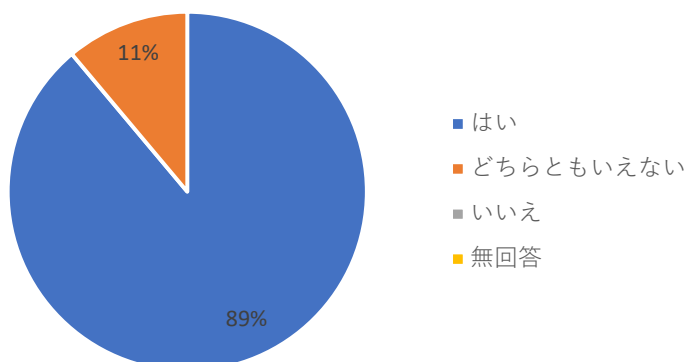
⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていると思いますか。



⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか。



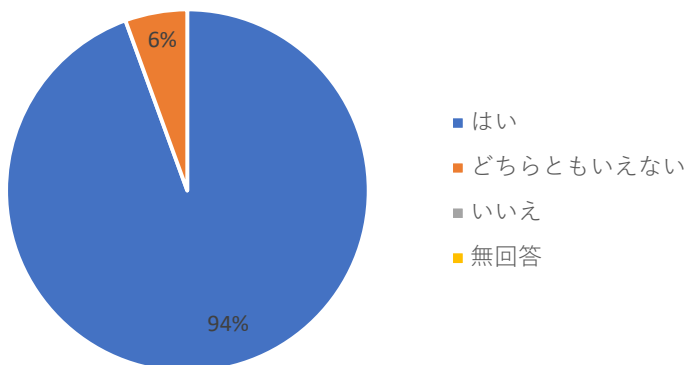
⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていると思いますか。



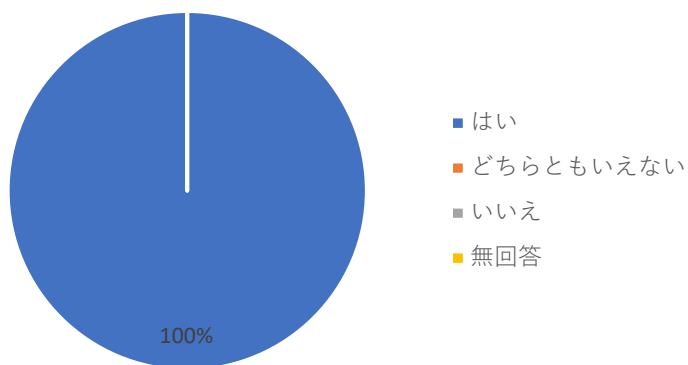
・お母さんたちもっと話ができる気楽な場があっ
てほしい。

・家族で参加できる行事等があり普段の活動の様子
を知ることができてうれしいです。

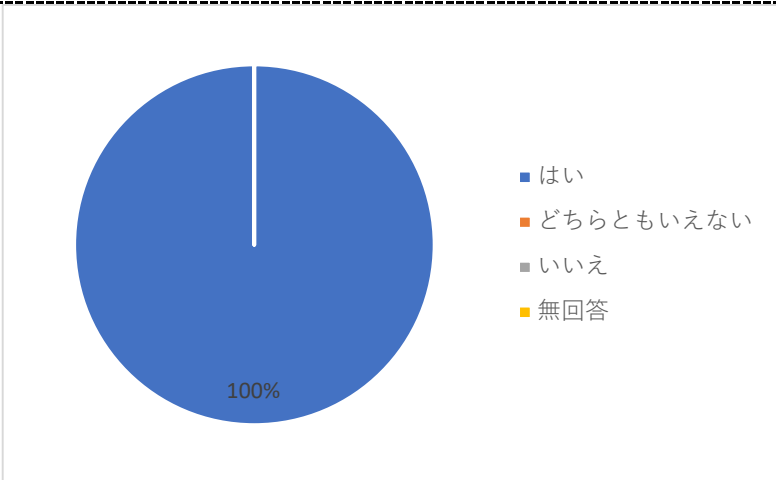
⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦
情があった場合に迅速かつ適切に対応していると思いますか。



⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。

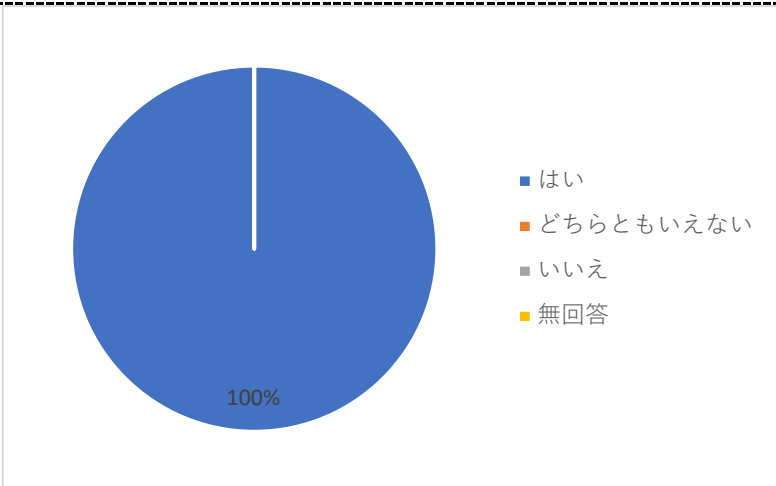


⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していると思いますか。

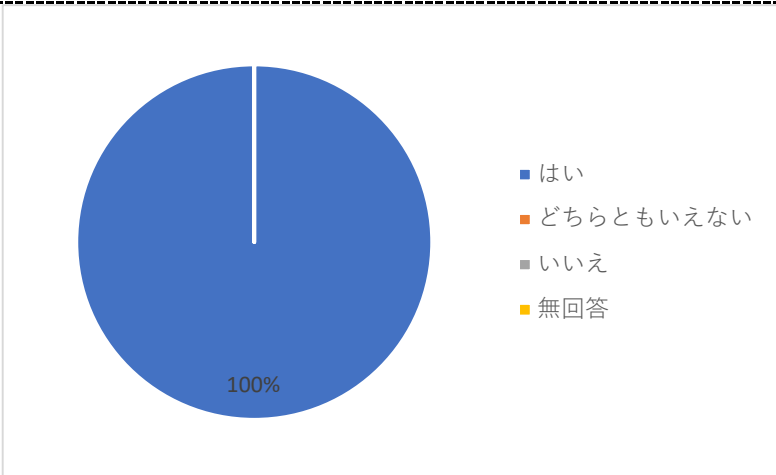


・会報をととても楽しみにしています。いつも予定の連絡も早くいただきありがとうございます。ありがとうございます。

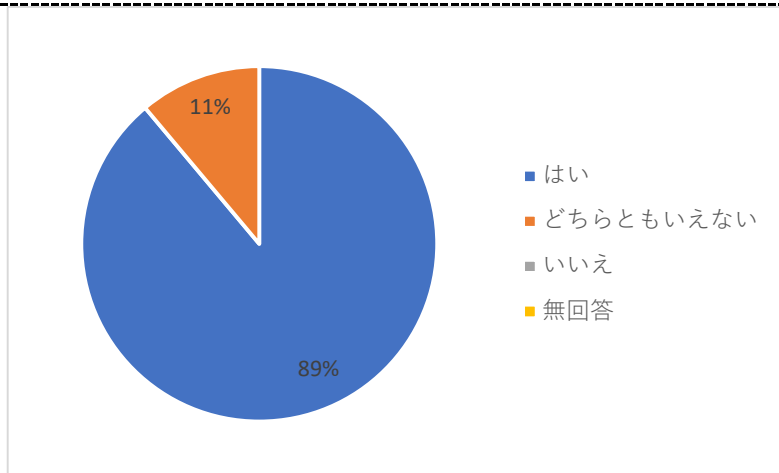
⑭ 個人情報に十分注意していると思いますか。



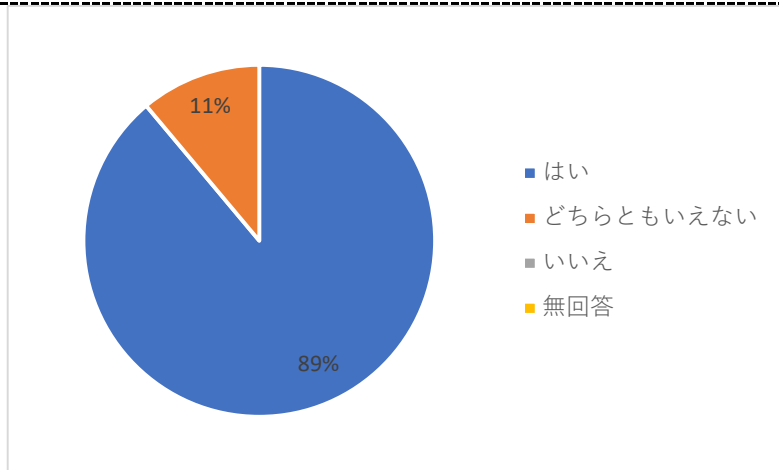
⑮ 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染対策をしっかりと行えていると思いますか。



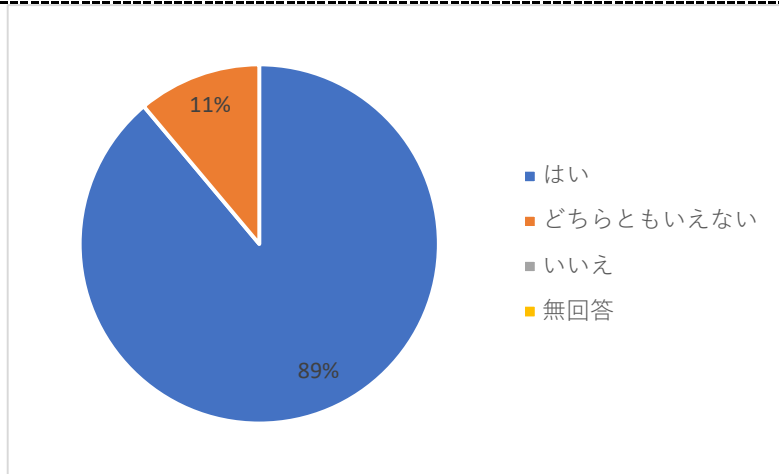
⑯ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていると思いますか。



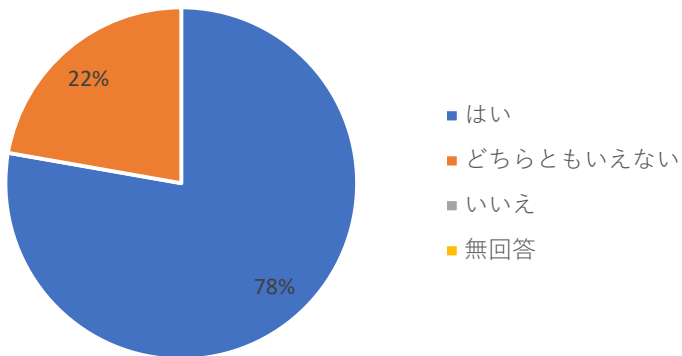
⑰ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思いますか。



⑱ 手洗いうがいの他、デイサービス内に、エアロシールド（紫外線殺菌装置）や冬場は大型加湿器の設置。送迎車内にクレベリンを設置するなど感染対策は十分行えていると思いますか。

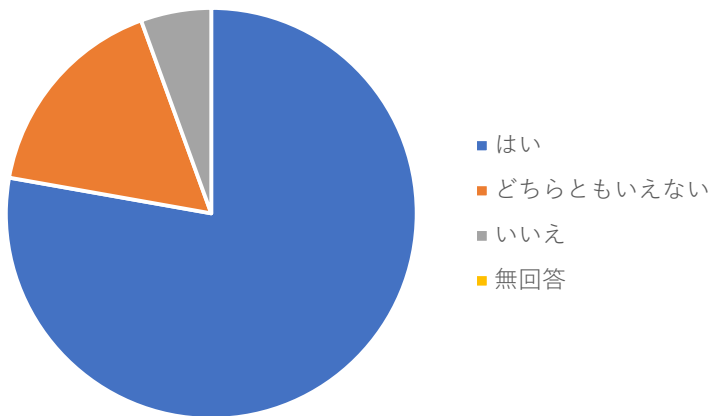


⑮ マスク着用について、原則個人の判断が尊重される中、福祉施設として送迎車内での着用は継続しております。今後、学校や家庭と同じように、送迎車内含め職員も個人の自由として緩和する事に賛成ですか。

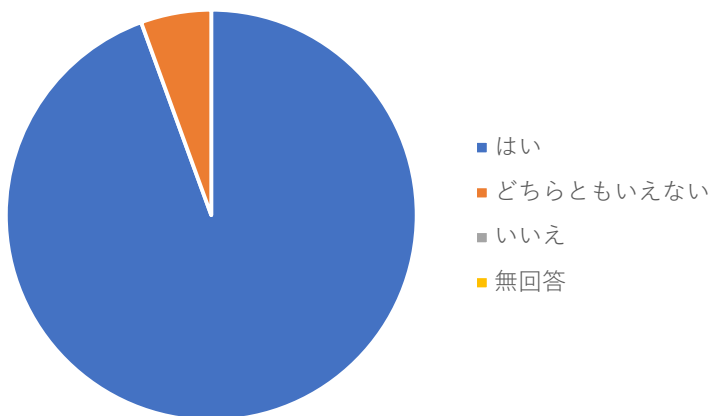


- ・体調が悪い方はマスクをつけていてほしい。
- ・個人の判断になると、感染が広がる可能性も考えられるので現状のままだもよいかと考えられます。
- ・個人の判断ではあると思いますが、送迎車など、狭い空間ではマスクをしてほしいというのが本音です。

⑯ お子さんはグローリーに行くことを楽しみにしていますか。



⑰ グローリーの支援に満足していますか。



【その他】ご意見やご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・いつもこどもの様子をよく見て下さり、教えていただきありがとうございます。連絡帳もお忙しい中ご記入いただき、様子を知ることができるので感謝しております。
- ・手のかかる子でご苦勞をおかけしていることと思いますが、いつも様々な体験や活動にお誘いいただきとても感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- ・いつも「楽しかった!」と言って帰ってきています。いろいろな活動をしてくださりありがとうございます。おやめるも手作りのものが多くありがたいです。もう少し活動費をとっていただいてもいいのかなと心苦しい時があります。
- ・もし可能でしたら、就労施設の見学など行って欲しいです。

アンケート集計を終えて

保護者の皆さまには、毎年アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。
コメントいただきました内容について、現時点でお応えできること、ご対応等について下記の通り回答させていただきます。また、過去掲載している内容と重複するところもありますが、初めてアンケートに御協力いただいた方もいらっしゃると思いますので、お知らせいたします。

質問2 職員の配置人数や専門性について

医療よりの専門職の配置について、当事業所での採用対象として考えておりますので、入社希望の方がいれば、面接の上採用の可否を検討します。

現状、PT、OT、ST、心理士がいない中、次のような対応をとっております。

1. 従来、臨床心理士の先生を講師でお招きし、利用者の事例などを通じて職員が学ぶ機会を設けておりましたが、先生の体調不良で今年度の開催がしっかり確保できておりませんでした。現在、令和7年4月以降に、精神科医の先生に毎月（8月の夏休み除く）開催する方向で調整しております。

経験年数問わず、職員全体のスキルアップと専門職として利用者、その家族に還元できるように努めて参ります。

2. 動作法などについて、代表の平川が関係するパラ水泳をはじめ、職員にはパラスポーツ指導員の取得や行事等に参加し、そこに関わる理学療法士や作業療法士の方に学ぶ機会を設けています。この数年、日本デフビーチバレーボール協会とのかかわりで、研修会等にも参加しています。

3. 必要の応じで相談支援専門員を中心に、スクールソーシャルワーカーやかかりつけ医の医師と情報交換、共有を行っている事例もございます。

＝専門性について＝ （昨年も掲載しているものです）

「専門」の定義がよくわからないという方も多いと思います。当事業所の内部研修でもよく話しますが、放課後等デイサービスで働く為に必要な資格や知識を身に付ける研修会など、「これ！」という1つのものに限定ができません。例えば、保育園の先生になりたい方は保育士。学校の先生になりたい方は教員免許。児童の悩み相談を聞きながら成長をサポートしたい方（スクールソーシャルワーカー）は、社会福祉士・精神保健福祉士・臨床心理士。介護員（ヘルパーなど）になりたい方は介護福祉士。認知症の方へ専門として働きたい方は、認知症介護実践リーダー研修と言った資格や勉強会があげられます。

では、放課後等デイサービスで働くには!? 正解はたくさんあります！（保育士・教員免許、理学療法士、社会福祉士などなど）この複雑さについて、当社の見解は、子どもたち（小1～高3・様々な障がい種別）の育成・成長には多職種のかかわりで行われるからと考えています。なので、職員の〇〇さんは保育士です。教員免許所持者です。介護福祉士です。と言っても、イコール放デイの専門と直結しづらいと私たちも思います。当社では無資格者の採用を例に上げますと、強度行動障害支援者養成研修を受講させ、知的障がいや発達障がいの知識をまず身に付けていただき、行動障がい起きる要因や予防的対応に努めることを覚えていただきます。次に、介護職員実務者研修を受講していただき、いわゆる福祉の業界ですので、介護職員としての基本的知識・介護技術を身に付けて頂きます。実務経験3年で介護福祉士試験にチャレンジ。学歴にもよりますが、実務経験2年で保育士試験にチャレンジ。その他、同行援護従業者養成研修（視覚障がいの方の勉強）や、随時行政や関係団体が開催する研修会に出席しています。内部研修は月に1回、臨床心理士の先生（久留米大学 教授（人間健康学部総合子ども学科）・元福岡女学院大学 子ども発達学科長・過去、保育園理事長・幼稚園園長代理も努めた）にお越しいただき、発達臨床心理学や子ども学の講義や、事業所内の事例をもとに検討会などを行っています。※令和7年度より精神科医の先生に変更。また、さらに月に1回、放デイのみならずヘルパーや相談員も含めて全体研修会として、毎月研修会を実施しています。

前置きが非常に長くなりましたが、グローリーでは、放デイという業界のスペシャリストを目指すより、来ていただいている目の前の利用児童1人1人のことをよく見て、理解して、何をどうしたらできることが増えるのか。それを一緒にチャレンジできる場づくりと成功体験につなげられることを目指しています。

このアンケートを実施して以来、不定期ですが職員の資格等を含めて紹介ができるように栄光の架橋に掲載させていただいております。

質問6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会について

このような機会は非常に重要と考えていますが、なかなかできていないのは事実です。ネガティブな考えで申し訳ないですが、交流の機会を調整する際に大きな課題が3点。1つ目は、相手側（障がいのない団体）は近年、障がいがある方とのかかわりをビジネス的な要素にする。SNSなどに沢山取り上げられるケースが多い事、2つ目はケガをした際の責任の所在の明確化など、トラブル（その時）が起きたときの対応。3つ目はよい意味で、友好関係となった際に、グローリーや家庭から離れた場所で子ども同士が付き合い出した際のトラブル等。このようなことを考えながらお付き合いのできる団体等は現状ありません。

これまでの当事業所の対応は、田植え稲刈り、もちつき等へ代表の平川が関係する水泳団体の方（障がいのある人・ない人）や、所属する団体（大分商工会議所青年部、別府青年会議所、大分南ロータリークラブ）のお子さんたち、利用児童のきょうだいの方、グローリーのご近所の方に参加いただいています。

当事業所の農業体験に深く感動してくださっている保育園や学童保育等を運営してくださっている方と、このような機会確保にご理解をいただいております、一緒に田植え体験などできるように準備を進めています。

質問15・18・19 感染対策などについて

マスクを着用しない生活に戻ってきていますが、当事業所では送迎車内での着用は行っており、ご自身の体調や流行時期には予防の観点で着用するのはご家庭の判断としています。新型コロナが始まって、連絡帳の中に予備マスクを入れられる袋を導入していますので、使用した際は保護者に報告して補充をお願いしておりますが、保護者の皆様も連絡事項の確認の際に、一目見ていただけると幸いです。

放デイの玄関に設置しておりました体温計を兼ね備えていた消毒の機械は従来の消毒液のみに戻しました。これは、この1年で様々な施設等で撤去されてきたという社会の流れを見ながら判断いたしました。なお、利用児には毎回検温を行っているのご安心ください。

質問16・17 各マニュアルや訓練等について

法改正なども含め、必要なマニュアルの作成および、研修、訓練も実施しております。避難訓練では、最寄りの避難指定場所（寒田小学校）まで歩いていき、道順の確認やその時間。また、利用者によっては車いすに乗っていただき、安全かつ速やかな避難ができるように行っております。

当事業所は津波と土砂崩れの心配がない立地状況です。火災や地震を中心とした訓練を実施しております。

その他

現場で奮闘する職員に勇気をいただけるお言葉、ありがとうございました。

活動費について、当事業所の考えをお知らせいたします。

放デイは公的サービスであり、相談支援専門員が作成する計画と市町村の支給決定で初めて当事業所の利用に向けて契約に至ったと思います。その際の費用負担等について、原則1割負担で世帯状況に合わせた上限額があるといった利用料のお話が主だったともいます。活動等によって、実費額のご負担をお願いしますというご説明も行っておりますが、当事業所で負担いただく時とそうでないときは下記の基準です。

＝活動費（実費）を頂かない場合＝

- ・当事業所が決めた外出先や活動に関する諸経費（入場料等）

説明：例えば、うみたまごに行くとなった日に、その入場料の個人負担が難しい過程は利用をキャンセルしなくてはならないのかという問題が発生します。当事業所がおこさん立ちの成長に必要と思って企画した活動には実費徴収を行うことにより、公的サービスに求められる本質が薄れると考えているからです。

＝活動費（実費）を頂く場合＝

- ・外出先での昼食を各自で注文する場合

説明：当事業所では、外出先によってお弁当を準備する場合は、全員一律のメニューなので「幕の内弁当を食べる練習」として提供させていただいています。しかし、外出先のレストラン、食堂等で自分で注文して食べるという機会の際は、あらかじめメニューと金額をお知らせしていますが、自分で選ぶものは実費として対応していただいております。

このような考えで実施しておりますので、ご遠慮なく、こどもたちの成長のために多くの行事、活動にご参加いただければ幸いです。